

平成 25 年度水環境における放射性物質モニタリング結果について

環境省において、モニタリング調整会議（事務局：原子力規制委員会）において決定された総合モニタリング計画に基づき、福島県を中心に、河川、湖沼・水源地、沿岸、地下水等における放射性物質の状況を把握するため、水質、底質（地下水は水質のみ）の放射性セシウム等のモニタリングを継続的に実施中（調査地点、調査時期、調査媒体に応じて1ヶ月～6ヶ月に1回の頻度で実施）（調査概要：別添1～別添3）。

また、水生生物（魚類、甲殻類、貝類、水生昆虫、植物等）の放射性物質濃度についても調査（別添7～9）。

【モニタリング結果概要】

○ 河川、湖沼・水源地、沿岸等（602 地点）

・水質の状況

現在のところほぼ不検出（検出下限値：1Bq/L）の状況（数地点で検出（平成25年度調査では最大47Bq/L）されており、主に増水による濁りの影響と考えられる）。

・底質の状況

① 河川（別添4）

20km 圏内など一部限られた地点において高い数値が見られるが、ほとんどの地点で1,000Bq/kg 程度以下。

増減傾向については、全体としては、おおむね減少又は横ばい。

② 湖沼（別添5）

20km 圏内など一部限られた地点において高い数値が見られるが、大半の地点では、おおむね3,000Bq/kg 程度以下。

増減傾向については、増減にバラツキはあるが、20km 圏内など一部限られた地点において大幅な増減傾向がみられるものの、全体としては大幅な増加は見られない。

③ 沿岸（1～2km（環境省実施地点の結果概要（河川河口沖等））（別添6）

全体としては、おおむね150Bq/kg 程度以下と河川、湖沼と比べて低い水準。

増減傾向については、おおむね減少又は横ばい。

④ 沖合（10km、20km（環境省実施地点の結果概要

（青森県南部から福島県北部の8測線））

仙台や石巻等でやや高い数値が見られるが、概ね100Bq/kg 以下。

増減傾向については、バラツキはあるものの、全体としては概ね横ばい又は減少傾向。

○ 地下水（375 地点）

全地点において不検出（検出下限値：1Bq/L）。

○ 水生生物（別添7～別添9）

水域によってばらつきがあり、採取された生物種も同一ではないが、全体としては、おおむね減少又は横ばい。河川・湖沼では、海域よりも比較的高い傾向。

総合モニタリング計画に基づく水環境の放射性物質モニタリング実施状況（平成25年度）

	実施範囲・測定地点	分析内容	実施状況																
河川、湖沼・水源地、沿岸	<p>【実施範囲】 福島県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県の全域 及び岩手県、千葉県等の一部</p> <p>【測定地点】 公共用水域（河川、湖沼・水源地、沿岸）の環境基準点等</p>	<p>【核種分析】 ＜試料＞ 水質、底質、 環境試料（土壌）</p> <p>＜対象核種＞ 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（一部底質）</p> <p>【空間線量】 各測定地点の近傍</p> <p>※この他、福島県内を中心に水生生物調査を実施</p>	<p>汚染状況等に応じて、1～6ヶ月に1回の頻度で調査</p> <p>【岩手県（南部）】 河川：22地点、沿岸：2地点</p> <p>【宮城県】 河川：43地点、湖沼等：21地点、沿岸：12地点</p> <p>【福島県】 河川：123地点、湖沼等：84地点、沿岸：15地点</p> <p>【茨城県】 河川：53地点、湖沼等：19地点、沿岸：5地点</p> <p>【栃木県】 河川：56地点、湖沼等：8地点</p> <p>【群馬県】 河川：48地点、湖沼等：24地点</p> <p>【千葉県（北西部）、東京湾沿岸等】 河川：51地点、湖沼等：8地点、沿岸：8地点</p> <p>計602地点 （河川：396地点、湖沼等164地点、沿岸：42地点）</p>																
地下水	<p>【実施範囲】 福島県、宮城県、茨城県、栃木県、岩手県、群馬県、千葉県の全域</p> <p>【測定地点】 各自治体において測定地点（井戸）を選定</p>	<p>【核種分析】 ＜試料＞水質</p> <p>＜対象核種＞ 放射性ヨウ素 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（一部）</p>	<p>年2～4回の頻度で調査</p> <table border="0"> <tr> <td>【岩手県】</td> <td>22地点</td> <td>【宮城県】</td> <td>24地点</td> </tr> <tr> <td>【福島県】</td> <td>229地点</td> <td>【茨城県】</td> <td>28地点</td> </tr> <tr> <td>【栃木県】</td> <td>27地点</td> <td>【群馬県】</td> <td>22地点</td> </tr> <tr> <td>【千葉県】</td> <td>23地点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>計375地点</p>	【岩手県】	22地点	【宮城県】	24地点	【福島県】	229地点	【茨城県】	28地点	【栃木県】	27地点	【群馬県】	22地点	【千葉県】	23地点		
【岩手県】	22地点	【宮城県】	24地点																
【福島県】	229地点	【茨城県】	28地点																
【栃木県】	27地点	【群馬県】	22地点																
【千葉県】	23地点																		
海洋環境	<p>【実施範囲】 福島県北部から青森県の沖合</p> <p>【測定地点】 離岸1km、10km、20km地点等</p>	<p>【核種分析】 ＜試料＞海水、海底土</p> <p>＜対象核種＞ 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（海底土）</p>	<p>福島県北部から青森県の沖合において、年2回調査（※化学物質等による海洋環境への影響調査に併せて実施。）</p> <p>【青森県】 八戸沖</p> <p>【岩手県】 宮古、大槌、釜石、大船渡、陸前高田沖</p> <p>【宮城県】 気仙沼、南三陸、石巻、仙台沖</p> <p>【福島県】 相馬、いわき沖</p>																

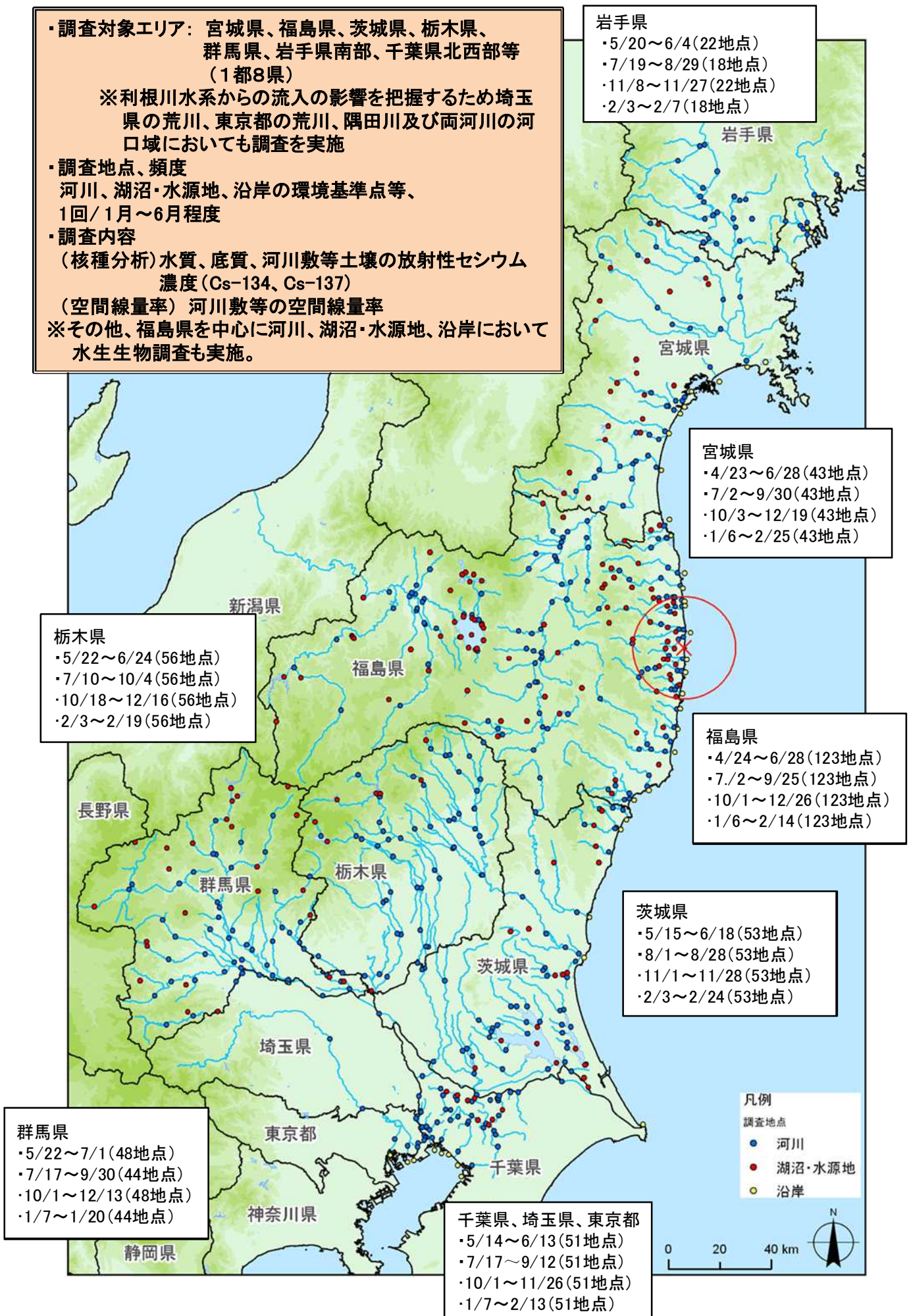
○ 公共用水域放射性物質モニタリングの実施状況(平成25年度)

(別添2)

・調査対象エリア: 宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、岩手県南部、千葉県北西部等 (1都8県)
 ※利根川水系からの流入の影響を把握するため埼玉県の荒川、東京都の荒川、隅田川及び両河川の河口域においても調査を実施

・調査地点、頻度
 河川、湖沼・水源地、沿岸の環境基準点等、
 1回/1月~6月程度

・調査内容
 (核種分析)水質、底質、河川敷等土壌の放射性セシウム濃度(Cs-134、Cs-137)
 (空間線量率)河川敷等の空間線量率
 ※その他、福島県を中心に河川、湖沼・水源地、沿岸において水生生物調査も実施。

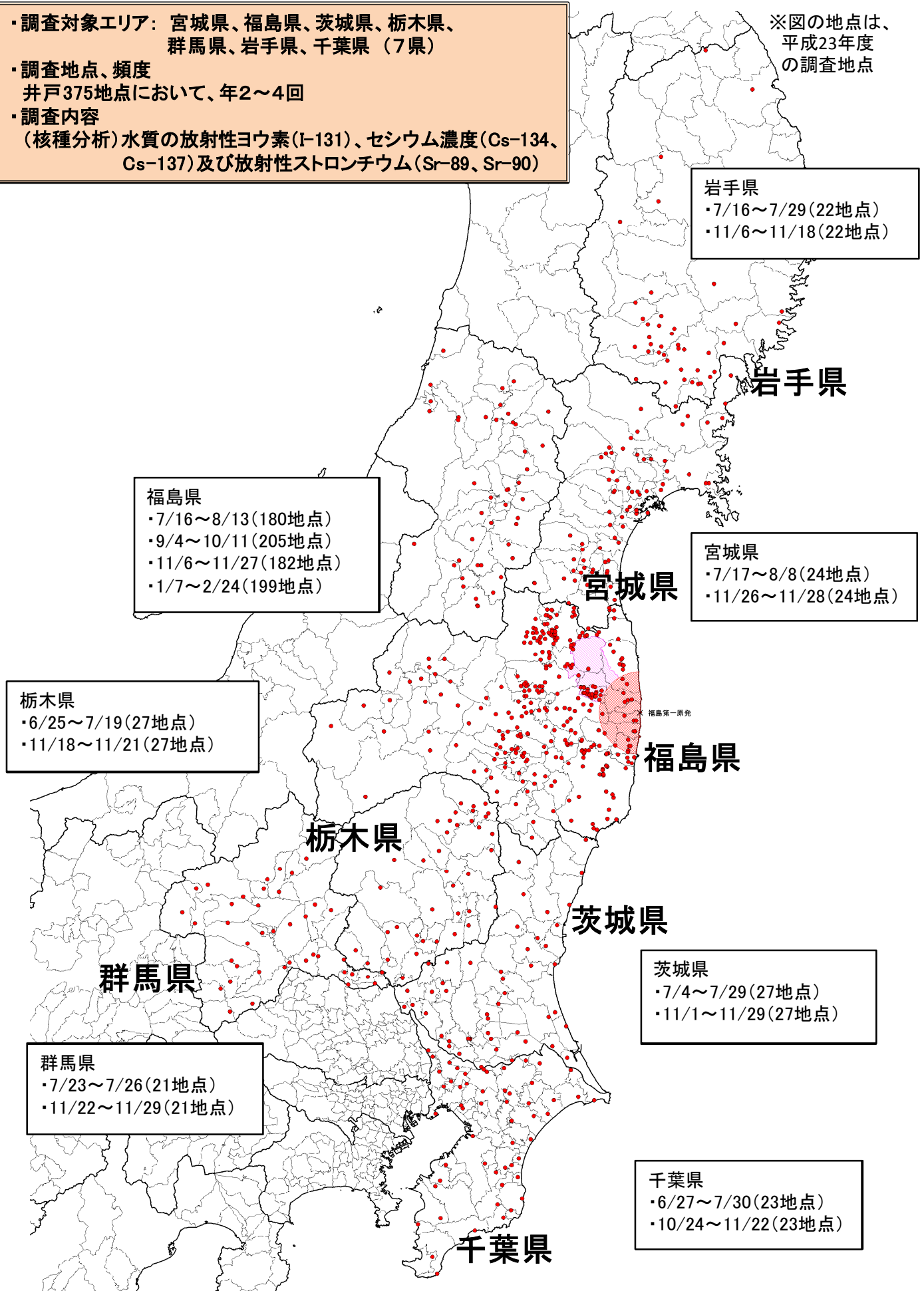


○ 地下水質放射性物質モニタリングの実施状況(平成25年度)

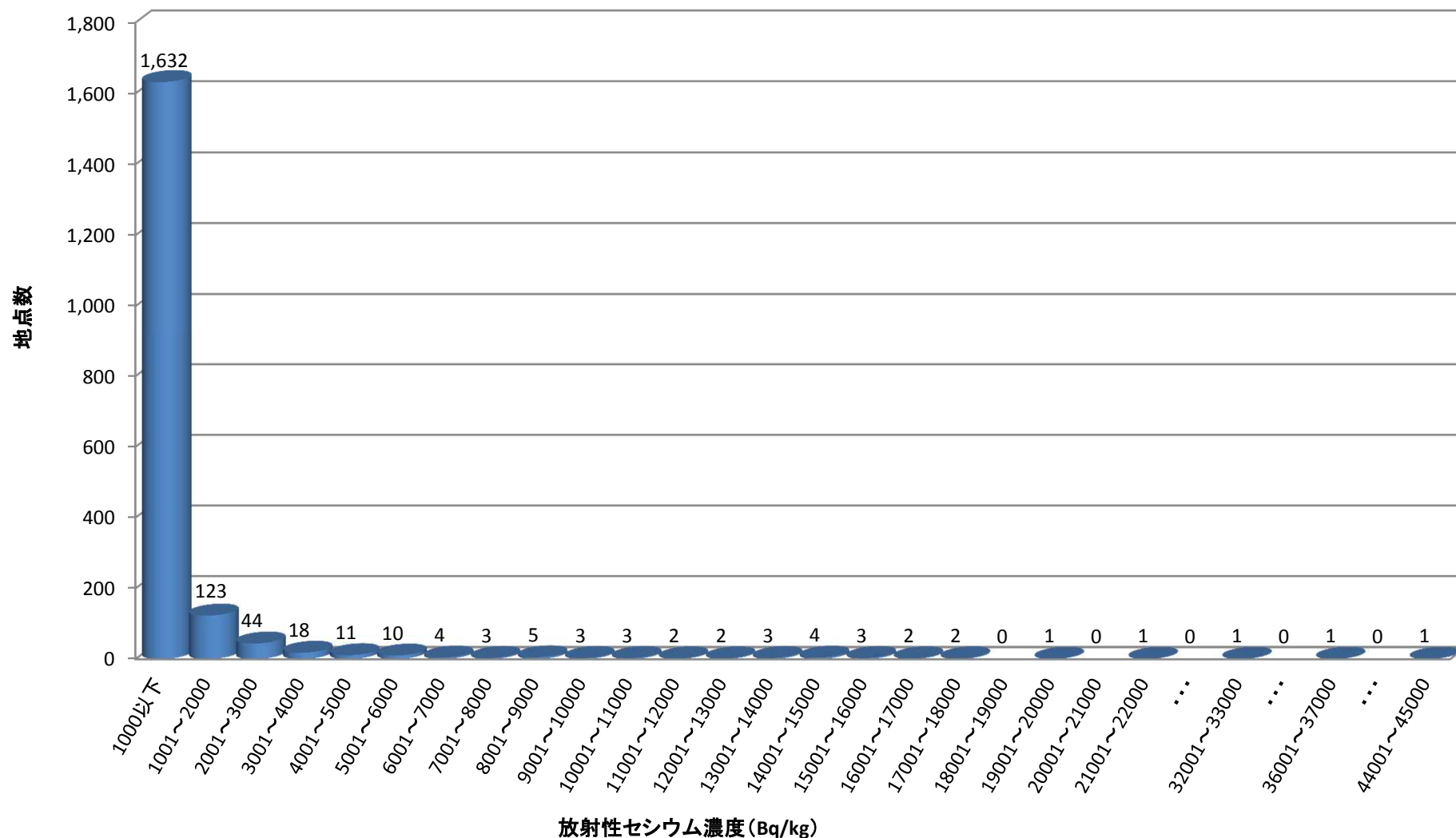
(別添3)

- ・調査対象エリア：宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、岩手県、千葉県（7県）
- ・調査地点、頻度
井戸375地点において、年2～4回
- ・調査内容
(核種分析)水質の放射性ヨウ素(I-131)、セシウム濃度(Cs-134、Cs-137)及び放射性ストロンチウム(Sr-89、Sr-90)

※図の地点は、平成23年度の調査地点



河川(底質)の放射性セシウム濃度ごと(1,000Bq/kg)の頻度(H25年度)

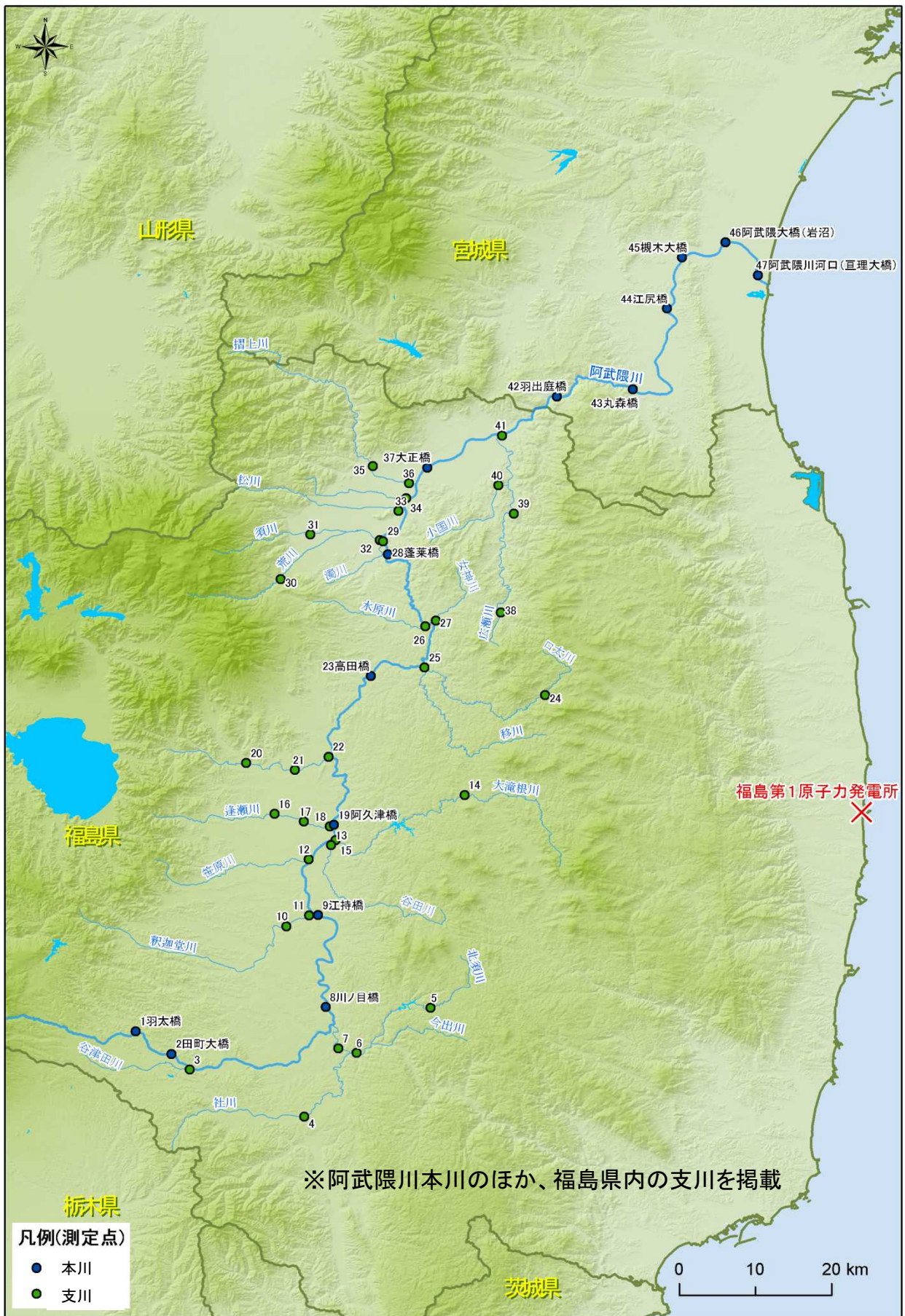


※H25年度調査結果(岩手県(80)、宮城県(76)、福島県(795)、茨城県(212)、栃木県(276)、群馬県(214)、千葉県・埼玉県・東京都(226) 計1879地点)

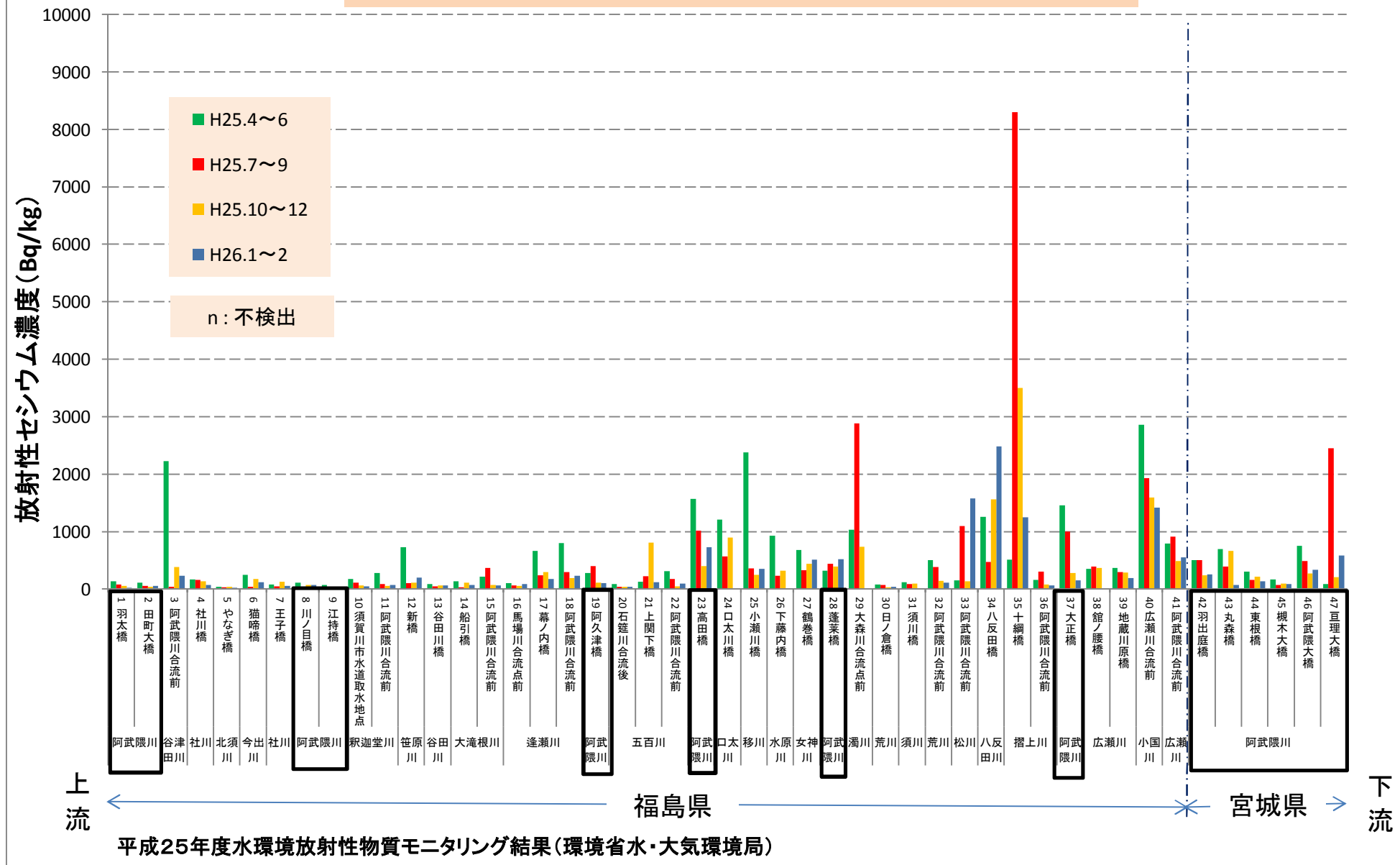
平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果(環境省水・大気環境局)

○ 阿武隈川水系調査地点図(平成25年度)

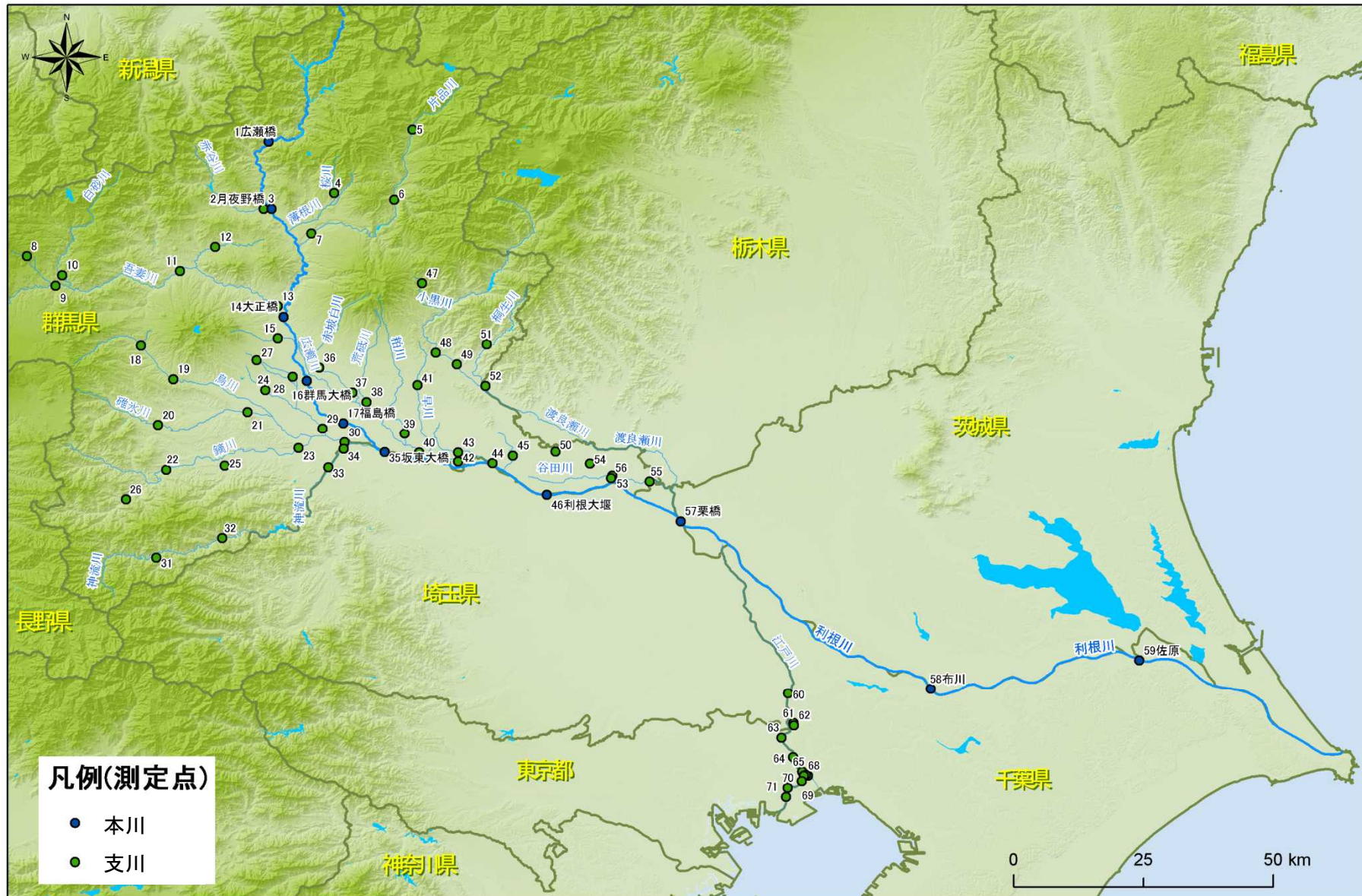
(別添4-2)



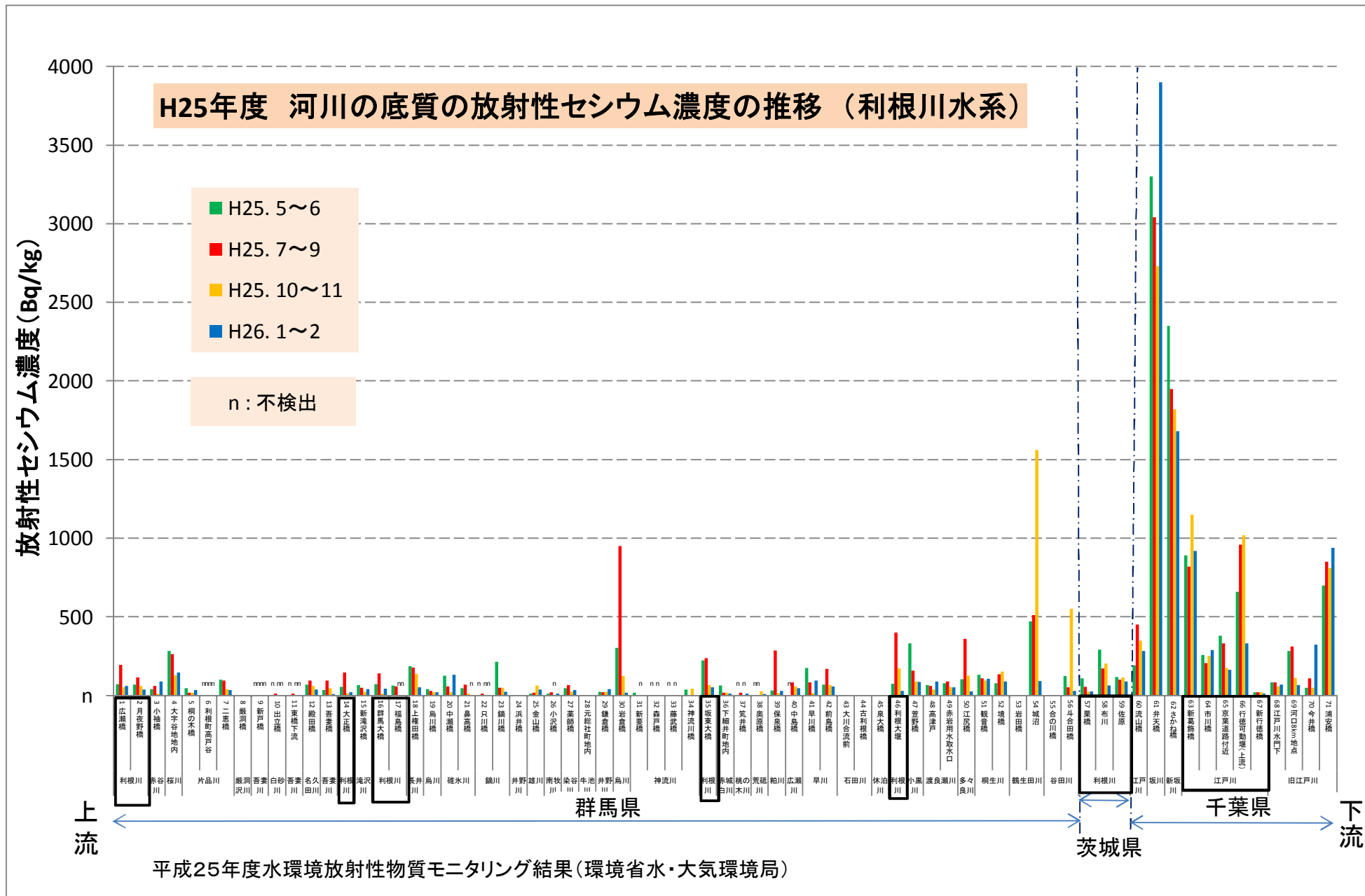
H25年度 河川の底質の放射性セシウム濃度の推移(阿武隈川水系)



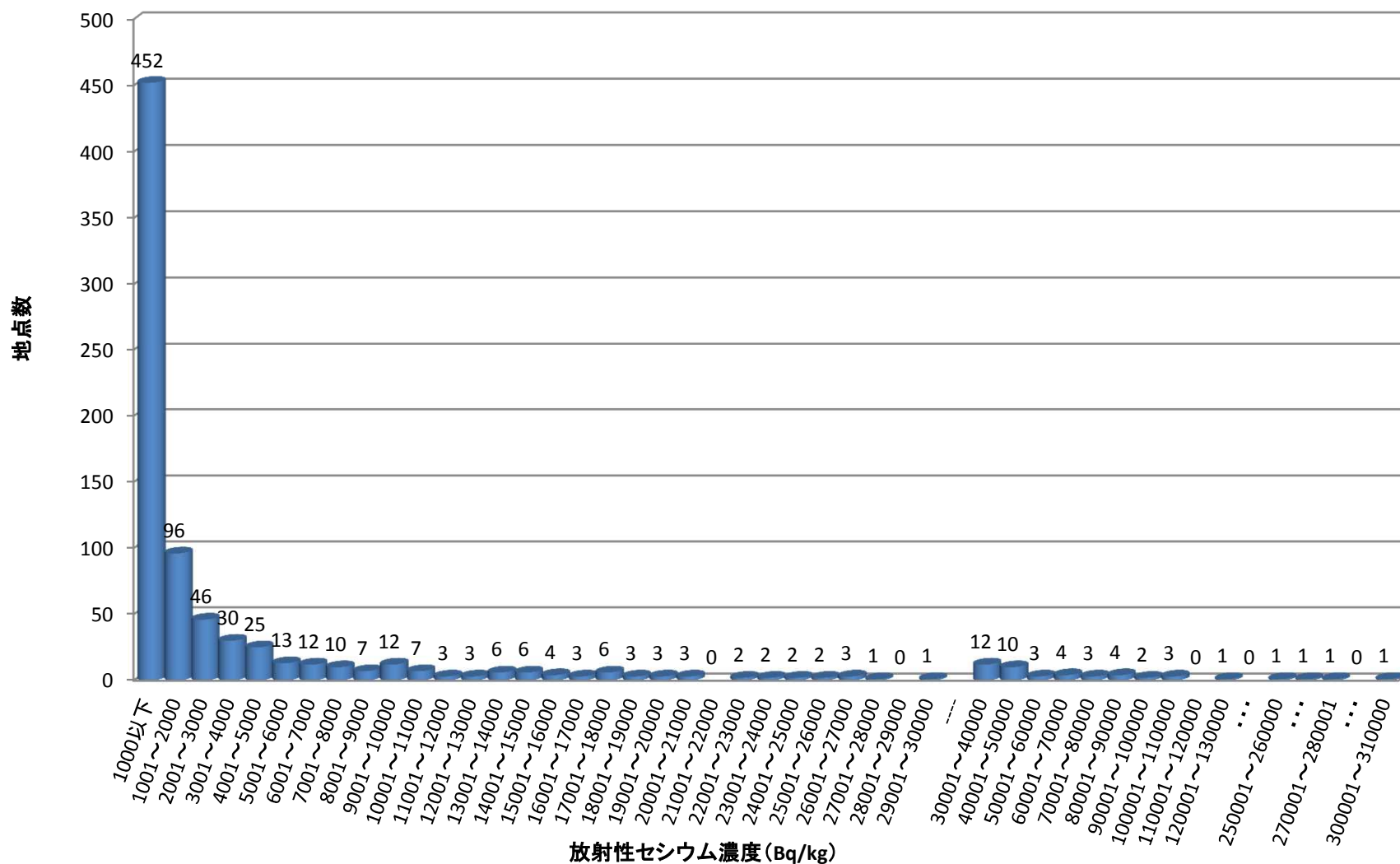
○ 利根川水系調査地点図(平成25年度)



※利根川本川のほか、群馬県内の支川及び江戸川、旧江戸川を掲載

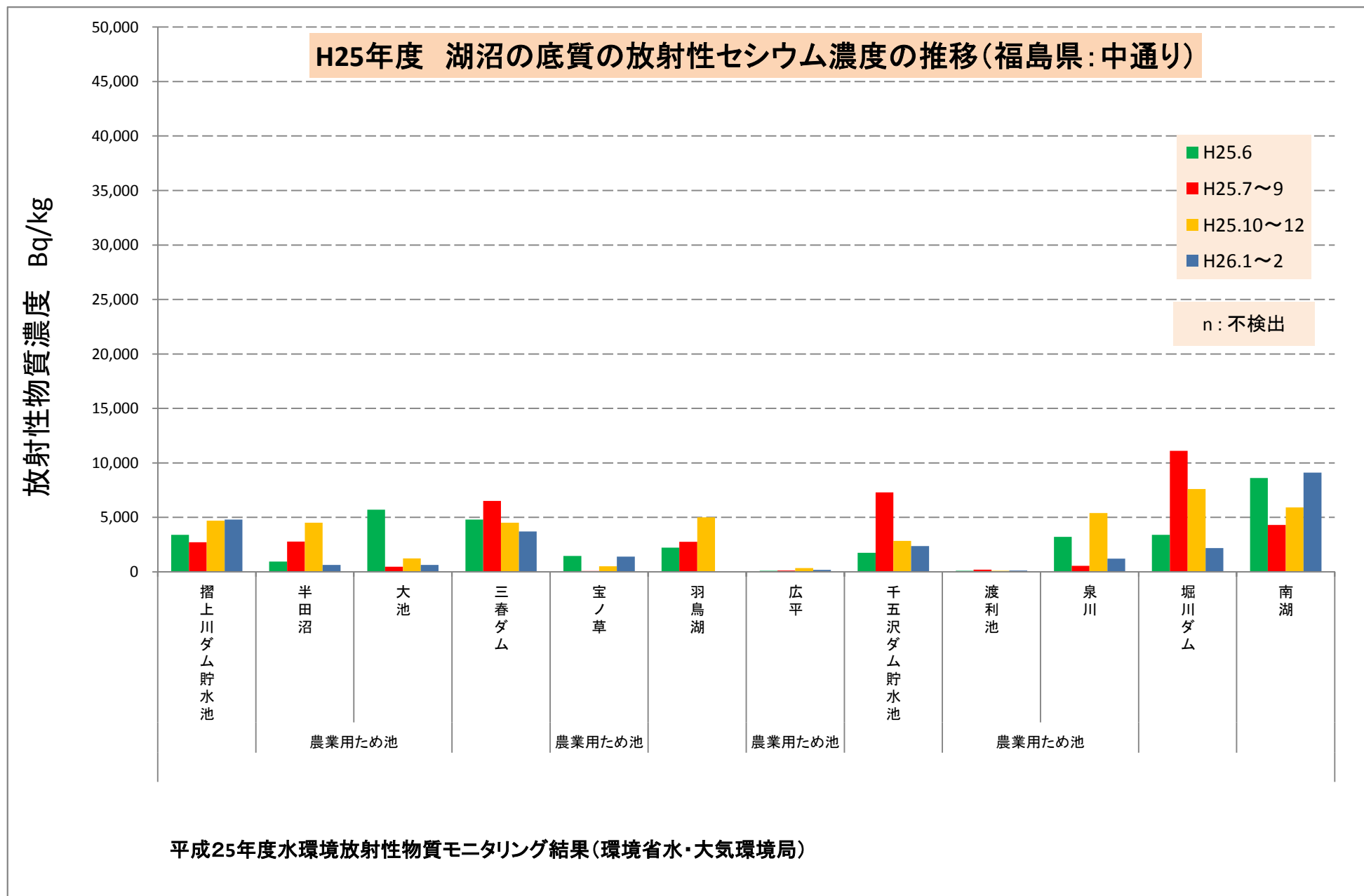


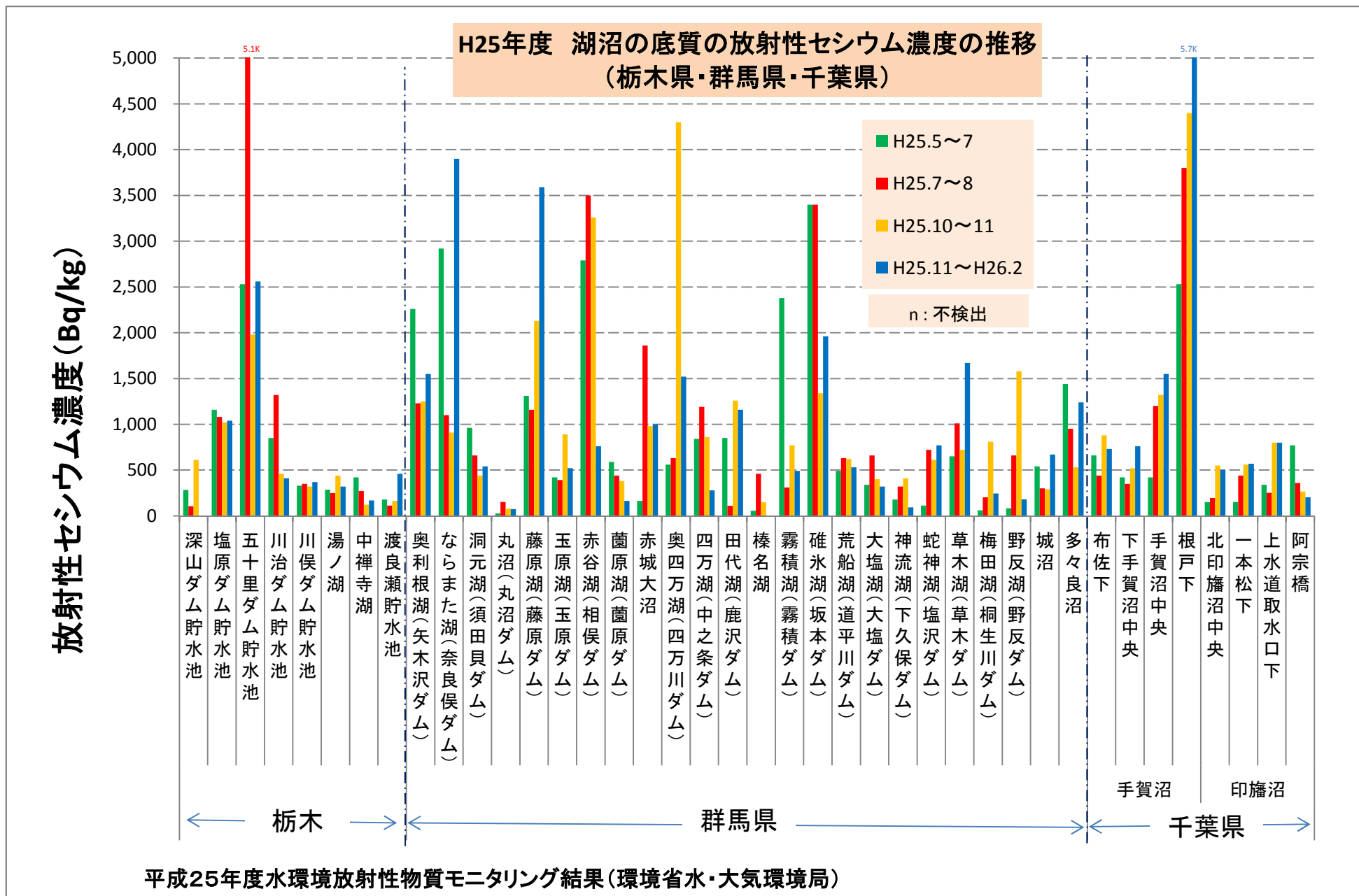
湖沼(底質)の放射性セシウム濃度ごと(1,000Bq/kg)の頻度(H25年度)



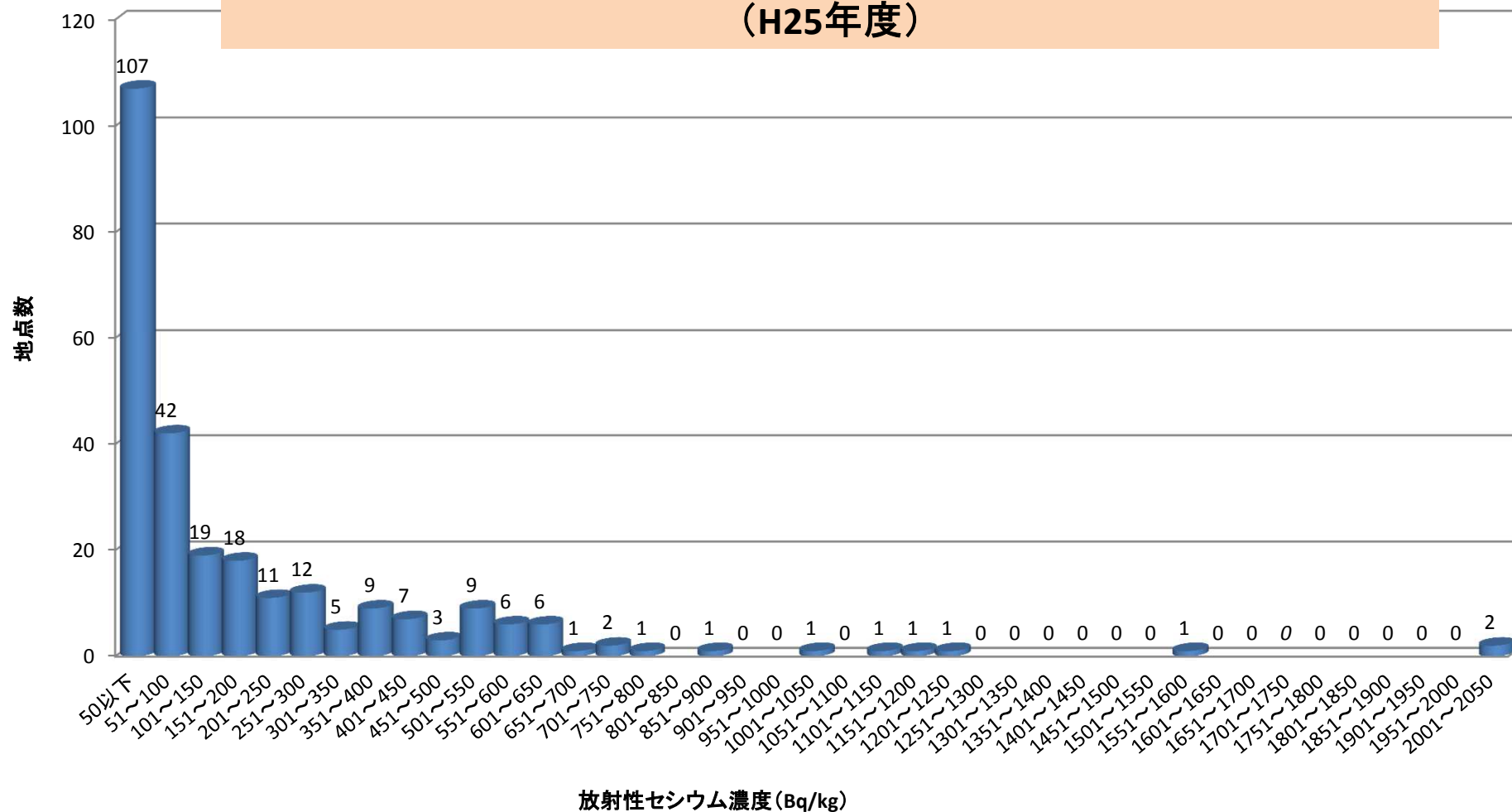
※H25調査結果(宮城県(76)、福島県(501)、茨城県(6)、栃木県(31)、群馬県(95)、千葉県(32) 計811地点)

平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果(環境省水・大気環境局)





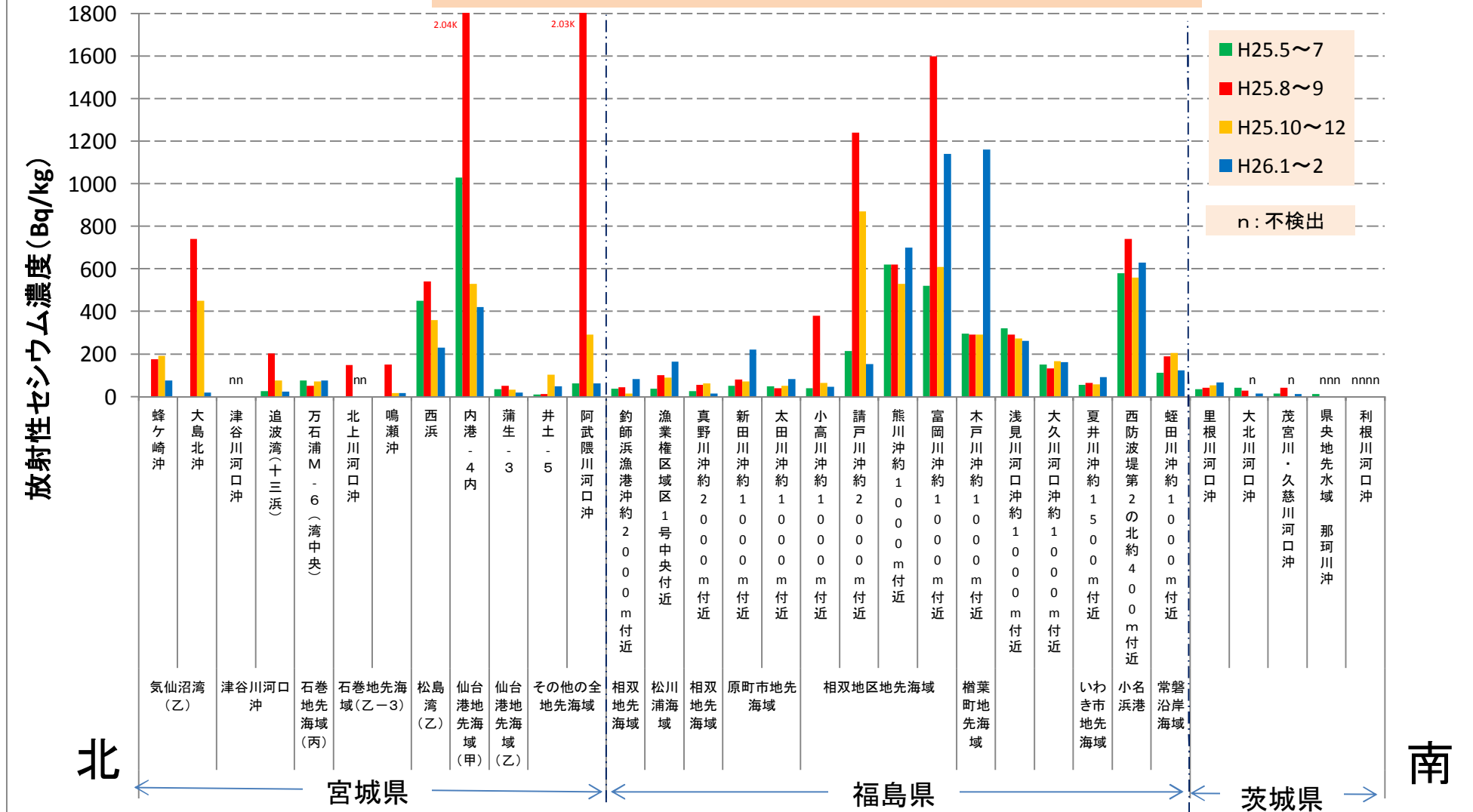
沿岸1~2kmの海域(底質)の放射性セシウム濃度ごと(50Bq/kg)の頻度 (H25年度)



※H25年度調査結果(岩手県(4)、宮城県(51)、福島県(150)、茨城県(20)、千葉県・東京都(41) 計266地点)

平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果(環境省水・大気環境局)

H25年度 沿岸(1~2Km)の底質の放射性セシウム濃度の推移 (宮城県・福島県・茨城県)



平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果(環境省水・大気環境局)

(別添7)

平成 25 年度水生生物放射性物質モニタリングの測定結果

環境省では、モニタリング調整会議において決定された総合モニタリング計画に基づき、平成 23 年 12 月より、福島県内を中心に、河川、湖沼、沿岸等において水生生物(水生昆虫、藻類、甲殻類、貝類、魚類等)等を採取し、種類ごとに放射性物質濃度(放射性セシウム(セシウム 134、セシウム 137)等)の測定を定期的(3～4ヶ月に1回)に実施中。

生育段階、種類が異なることから、一概には季節ごとの比較は困難だが、概ね減少又は横ばいで推移。河川・湖沼では海域よりも、比較的に高い傾向(別添9)。

①河川、湖沼

単位: Bq/kg-wet

			植物(藻類等)	水生昆虫	カニ類	甲殻類	貝類	魚類	両生類	粗粒状有機物 (枯葉等)
阿武隈川水系	阿武隈川 A	7月	730	39, 202 (2種)	—	76	28	16～274 (7種)	49～330 (3種)	830
		8月～9月	460	44, 131 (2種)	—	40	16	14～69 (7種)	22～299 (3種)	—
		10月～11月	340	26	—	157	19	19～41 (4種)	20～278 (3種)	—
		12月	284	41, 58 (2種)	—	37	—	31～45 (3種)	20, 330 (2種)	—
	阿武隈川 B	7月	ND, 450(2種)	15～198 (4種)	—	62	120	14～46 (6種)	49, 550 (2種)	165
		8月	171	11～124 (3種)	—	64	—	16～162 (15種)	68, 296 (2種)	204
		10月～11月	144	7.8～118 (3種)	146	33	—	5.9～55 (9種)	40, 302 (2種)	157
		12月	134	11～152 (4種)	—	—	—	44～109 (3種)	—	76
宇多川	7月	520	21～283 (3種)	—	29～55 (3種)	—	45～141 (3種)	12, 16 (2種)	205	
	8月	54, 520 (2種)	20～180 (3種)	—	29～44 (3種)	—	19～140 (5種)	33	147	
	10月～11月	307	25, 30 (2種)	—	37～51 (3種)	—	16～143 (5種)	18	520	
	12月	360	27～110 (3種)	—	34	—	27, 77 (2種)	—	33	
真野川水系	はま湖 (真野ダム)	7月	10～3,400 (4種)	89, 340 (2種)	—	—	—	225～2,650 (6種)	—	560
		8月～9月	22～1,470 (3種)	97～1,430 (3種)	—	307	—	204～770 (7種)	—	590
		10月～11月	38, 1,830 (2種)	80, 99 (2種)	—	216	70	145～1,580 (5種)	—	500
		12月	56, 620 (2種)	71, 86 (2種)	—	—	—	60～1,430 (7種)	—	243
	真野川	7月	14～1,610 (3種)	59～222 (3種)	—	180, 350 (2種)	99	6～254 (7種)	420, 1,100 (2種)	670
		8月	9.9～400 (4種)	63～159 (3種)	—	161～450 (3種)	42	46～191 (5種)	570	—
		10月～11月	ND, 460 (2種)	67～410 (3種)	—	57～340 (3種)	69	ND～1,860 (6種)	460	—
		12月	ND～910 (3種)	ND～910 (3種)	—	161	28	90, 205 (2種)	610	188
新田川	7月	9.3, 4,000 (2種)	270, 1,500 (2種)	—	400, 740 (2種)	—	198～460 (7種)	—	870	
	8月～9月	269, 3,200 (2種)	221, 1,290 (2種)	222	319	—	116～500 (9種)	4,100	500	
	10月～11月	1,740	221, 1,100 (2種)	—	301～430 (3種)	—	138～660 (8種)	1,600	—	
	12月	1,810	32～800 (3種)	—	306, 360 (2種)	—	197～254 (3種)	—	400	

太田川	7月	70~8,000 (4種)	150~840 (3種)	—	970, 1,390 (2種)	—	920~2,950 (6種)	—	4,300	
	8月~9月	278~7,400 (3種)	390~660 (3種)	—	730~1,420 (3種)	—	42~4,100 (8種)	—	—	
	10月~11月	73~8,700 (4種)	308, 660 (2種)	—	1,390, 1,580 (2種)	—	500~2,870 (7種)	—	—	
	12月	305, 5,600 (2種)	295~1,430 (3種)	—	1,220	—	930, 2,250 (2種)	—	880	
秋元湖	7月	1.3, 7.3 (2種)	ND	—	77	60	16~264 (11種)	24, 55 (2種)	250	
	8月~9月	19~78 (3種)	—	—	91	163	10~187 (13種)	19~340 (3種)	37	
	10月~11月	12, 22 (2種)	ND, 15 (2種)	—	55	—	28~93 (9種)	58	19	
	12月	42~169 (3種)	—	—	73	18	69~212 (7種)	21	—	
猪苗代湖	(北岸)	7月	—	—	—	—	55~165 (6種)	—	162	
		9月	—	—	—	12	—	12~158 (11種)	—	—
		10月~11月	—	—	—	13	—	2.6~170 (7種)	—	62
		12月	—	—	—	—	—	—	—	42
	(南岸)	7月	ND~2.9 (3種)	—	—	29	7.3	ND~158 (9種)	2.8, 120 (2種)	—
		8月~9月	ND~4.4 (3種)	—	—	8.7	9.8	1.8~173 (11種)	6.4	—
		10月~11月	1.1~48 (3種)	ND	—	6.2	4.2	1.7~215 (7種)	5.7, 30 (2種)	—
		12月	2.0	—	—	—	ND, 85 (2種)	2.7	38	—

※水生昆虫については、試料が少ないため、調査水域・地点ごとに複数種混合して測定。
測定に供する試料は、魚類を含め、個体丸ごととしている。

②海域

単位: Bq/kg-wet

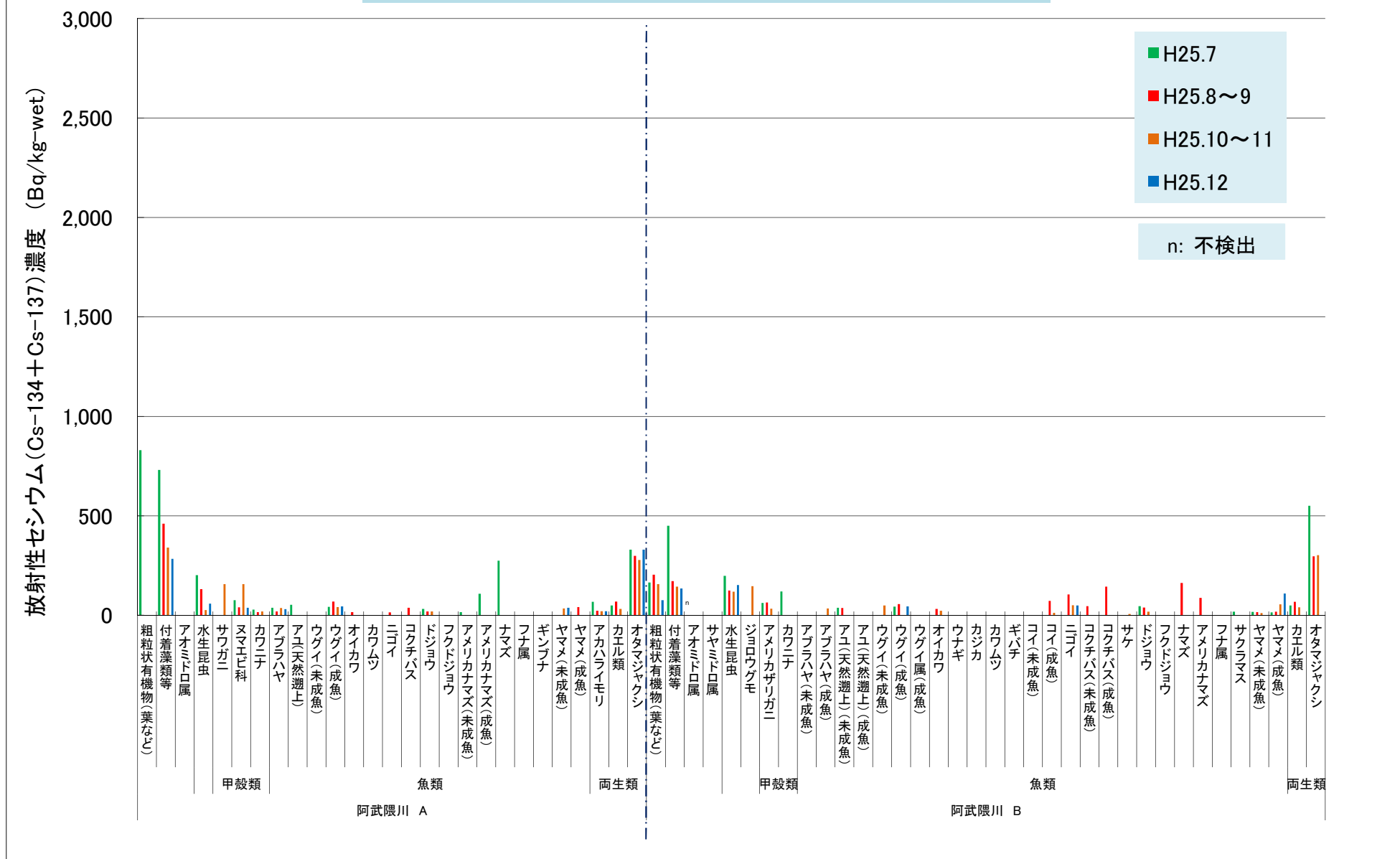
		植物 (藻類等)	ウニ、ヒトデ、ナマコ	甲殻類	多毛類	貝類		幼、如	魚類
						軟体部	貝殻		
阿武隈川 河口沖	7月	—	—	0.5	—	—	—	—	1.4~1.3 (6種)
	8月	—	—	0.39, 1.8 (2種)	—	—	—	—	1.6~7.0 (5種)
	10月、11月	—	—	0.66, 1.3 (2種)	—	—	—	—	1.8~3.3 (4種)
	12月	—	—	2.2	—	—	—	—	1.0~1.3 (6種)
相馬市沖 (松川浦)	7月	0.7~2.1 (3種)	—	2.6~2.0 (5種)	1.0	2.2, 4.0 (2種)	3.0, 1.5 (2種)	—	3.8~6.4 (3種)
	9月	ND, 0.53 (2種)	—	4.6~6.7 (3種)	6.9	2.3, 2.4 (2種)	1.6, 6.0 (2種)	—	4.6~5.3 (3種)
	10月、11月	ND~3.3 (3種)	—	1.7~2.2 (3種)	ND~1.6 (3種)	3.4, 5.2 (2種)	—	—	5.7, 1.5 (2種)
	12月	ND	—	5.0, 1.3 (2種)	—	1.8, 4.3 (2種)	—	—	—
いわき市沖 (久之浜)	7月	ND	5.0, 3.1 (2種)	—	—	1.7	1.3	—	4.3~10.6 (8種)
	9月	1.6	4.8, 2.3 (2種)	—	—	1.9	1.6	—	4.1~8.4 (7種)
	10月、11月	1.8	5.1	—	—	2.4	—	—	2.1~5.5 (5種)
	12月	1.1	6.7, 2.3 (2種)	—	—	1.8	—	—	4.2~5.0 (8種)

※測定に供する試料は、魚類を含め、個体丸ごととしている。

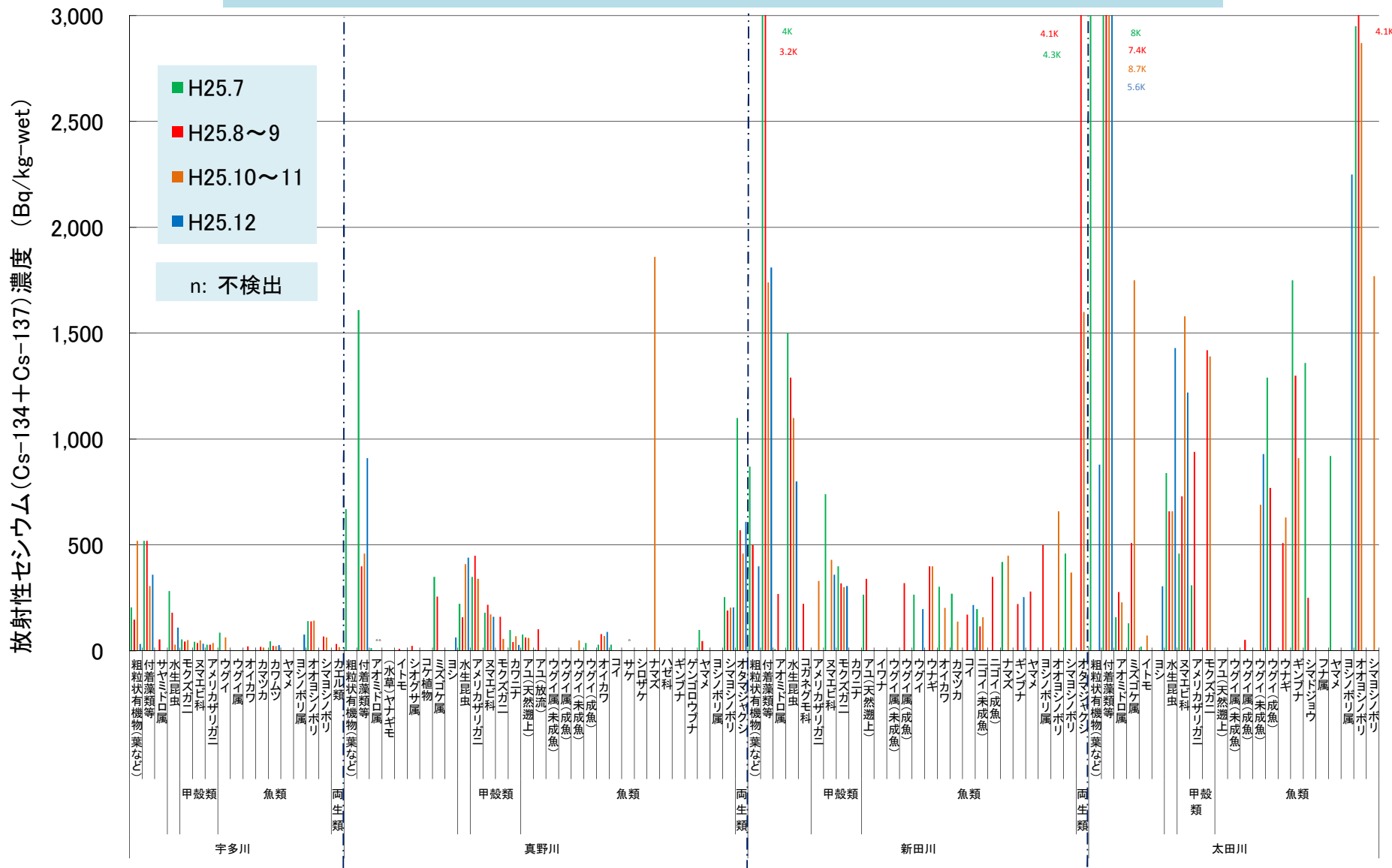
水生生物放射性物質調査地点図



平成25年度 水生生物放射性物質推移(河川: 阿武隈川)



平成25年度 水生生物放射性物質推移(河川:宇多川、真野川、新田川、太田川)



平成25年度 水生生物放射性物質推移(湖沼)

